



児童生徒の安全対策のため 防犯カメラ設置拡充が必要では

町長 効果等を検証し
必要かどうかを含め検討する

齊藤 好信 議員

予防医療の充実

質問 昨年の第2回定例会の一般質問で、最も有効な胃がん予防対策であるピロリ菌の検査と除菌治療を中学生を対象に実施するよう求め、町長からは、実施している他の自治体の事例も参考にしながら情報収集したいとの答弁だったが進捗状況を伺いたい。

また、難病による治療で、ワクチン接種で体内につくられた抗体が失われ、再度予防接種をしなければならぬ場合の再接種費用は全額自己負担になっている。病気の子どもを持つ親の経済的負担軽減の為に再接種費用の助成をするべきでは。町長の見解は。

町長 道内市町村における中高生に対するピロリ菌検査・除菌の実施状況

については、現在53市町村で実施している。有効性や安全性が確立され、保護者や本人が不安なくピロリ菌検査・除菌を実施できることが望ましい。今後も国が示す方針を踏まえ慎重に検討をしていく。

白血病などの治療等においては、予防接種により得た免疫の効果が低下又は失われ、再接種が必要となるお子さんがいるということとは認識している。再接種については任意の予防接種となり国の制度改正には至っていない状況で現在のところ助成をする予定はない。

再質問 対策型検診としては奨励されていないが、子供の将来のガン予防が最重要で、家族間の感染の連鎖を断ち切る予防医療だと思ふ。

再接種の助成について

も、あらゆる人を視野に入れ医療体制を整えておくことも重要ではないか。

町長 医師、保健師など関係者と話を詰め、町としてのスタンスを確認していく。

児童生徒の

安全対策の推進

質問 児童生徒の登下校における通学路の安全点検は十分されているか検証すべきではないか。また、学校も含め子供たちが集まる場所等に防犯カメラ等の設置拡充を行う対策が必要ではないか、町としての安全対策の考えを伺いたい。

町長 教育委員会が平成22年度から委嘱しているスクールガード・リーダーが月に1回巡回し、小中学校の通学路の安全点

検を行っている。子供たちが集まる場所への防犯カメラの設置については、様々な課題もあり今のところ計画はない。効果等を検証し必要かどうか含め検討したい。

再質問 防犯カメラの設置に関しては父兄や公区からも要望を聞いて検討してもらいたい。また、スクールバスを利用して児童が単独にならない方法等も事業者と協議すべきではないか。

教育長 防犯カメラの設置に関しては抑止効果があり検討の余地がある。一方でカメラの設置目的、場所等によっては、監視されている意識というものが出てくる。カメラの設置取り付けについては住民との合意形成が重要と思う。